

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (甲信越)		衣料品専門店（経営者）	・いくら景気が悪くても、春夏物の準備が始まれば、客は動く。
		遊園地（職員）	・料金施策の効果による集客や、イベントなどの集客施策の実施により、引き続き多くの来園客を期待する。
		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・高原状態がしばらく続く。季節の変わり目は葬儀が増えるというジレンスは、もはや高齢者が多いからか関係なくなってきたようである。
		商店街（代表者）	・当店のよう小さな小売店には余り響かないが、大手企業は業績が良いということで、下請にもその余波が幾らかでも来るのではないかと期待している。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・これから春に向けて、催事、キャンペーン等が計画されているので期待している。
		コンビニ（経営者）	・2月は節分の恵方巻やバレンタイン、3月のひな祭り、4月には花祭りと、これから徐々に春らしい季節になるとともに、皆の気持ちも明るくなってくるなかで、来客も増えると期待している。
		コンビニ（店長）	・確かな理由は分からないが、今月は来客数が大分減っている。ここまで少なくなることは、2～3か月先には恐らくないと思うので、今が最悪の状態、若干は良くなるのではないかと。
		乗用車販売店（経営者）	・新型車イベントによる効果と消費税増税前の駆け込み需要が予想される。
		乗用車販売店（経営者）	・消費税増税を控え、平成20年以前購入の長期保有自動車の買換えが増えている。
		スナック（経営者）	・今月も新年会は余り見られず、売上の的にも期待していたような数字ではない。今後2～3か月は異動の時期になるので、歓送迎会など飲みに出る機会も若干増えるのではないかと少しは期待している。
		都市型ホテル（支配人）	・今年は前年以上の回数で大きなコンサートが予定されており、宿泊の問合せも多い。やはり人気アーティストの地方での集客力と経済効果は大きい。
		都市型ホテル（スタッフ）	・前月からフリー利用が回復傾向で、継続して順調に推移している。予約状況も前年比でプラスで推移しているため、このままの流れであれば、確実に良くなる。しかし、初めてのことから、ゴールデンウィークの10連休付近の予約の動きが余り感じられず、受注としては低いことが懸念材料でもある。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・年度末、新生活等の準備で、商品の動きや業務は増加するが、必要なお金がお金が回るだけで、先行きの判断は難しい。
		百貨店（営業担当）	・日々の客の様子をみていると、これから良くなるというか、変わっていくという雰囲気は感じられない。現状と変わらず、消費に対してそれほど積極的ではなく、厳しい目で見て買物をしていくということである。
		百貨店（売場担当）	・客の春物への感心はまだ低い。一方、フリー客の冬物セールへの感心はまだあるものの、オンラインショップとの比較検討などで、上手に買い分けしている。百貨店の強みであるオケージョン強化で仕掛け、新規客の獲得を狙う。
	スーパー（経営者）	・輸出関連の機械や電子関係の工場では、先行き不安で警戒していると聞いている。	
	スーパー（経営者）	・3月末までは、来客数がどうなるか分からない。4月からは店舗の前面道路が開通するので、来客数は30%増加を予想する。2月の売上は前年並み、3月は20日以降にイベントが複数あり、かなり忙しくなるとみて、40%増を予想している。	
	家電量販店（店長）	・特別な景気回復材料がない。	
	自動車備品販売店（経営者）	・中国の経済停滞に加え、英国のEU離脱問題の余波を想定した製造業の減速の話が増えている。加えて、円ドル為替の変動も企業消費の慎重さを増幅している。皇太子殿下の御即位は慶事と捉えられており、個人消費の減速感は感じられない。	

	一般レストラン（経営者）	・大きなイベントなど、期待できそうな要因は見当たらない。	
	観光型ホテル（支配人）	・ビジネス客や特需の大型団体客はあるものの、一般客の予約はそれほどでもない。県内を訪れるインバウンド客は好調に伸びているが、特定の観光地に偏っており、当地への来訪はほとんどない。	
	観光型旅館（経営者）	・最近の傾向としては、春の需要は安定しており、当県内で大きなイベントなどもないことから、変わらない。ただ、春は桜の開花時期や天候、気温などによって、売上が大きく変化する。特に、最近では、直近の気象状況をみてインターネット経由で予約されるため、予想がしにくい。	
	都市型ホテル（スタッフ）	・現在、良くなる要素は見当たらないが、悪くなる要素も見当たらない。当地の天候が良いことで、少し上向きに近づき、前年よりは人の流れが出てくるかと思っている。	
	旅行代理店（副支店長）	・消費税再増税前までは駆け込み需要等により、一時的に需要は増加するが、その後の増加は見込めない。米国と中国の情勢によっては企業売上に影響を及ぼす。その結果、旅行需要は減少し、全体的には変化が見られない。	
	タクシー運転手	・ようやく当県でも、初乗り運賃の変更が始まった。料金の変更申請が始まる。	
	通信会社（経営者）	・4K8K放送は、話題も関心も少ない状態が続いていて、全く盛り上がらない。	
	ゴルフ場（経営者）	・雨や雪が少なく乾燥した日が続くため、芝の生育に不安を感じている。また、高齢者のアルバイト化が進むスタッフの、指導、教育を強化している。	
	商店街（代表者）	・統一地方選挙、4～5月にかけての大型連休があるため、春先の観光に影響があるように思われる。	
	百貨店（店長）	・不振であった衣料品は冬物在庫を残しており、一時的には冬物クリアランスセールの上につながっている。また、今年は皇太子殿下の御即位、消費税再増税等のイベントが控えており、消費がどのようになるのか予測がつかない。客の消費動向は慎重である。	
	スーパー（副店長）	・春の訪れとともに景気も上向いてほしいが、10月からの消費税再増税の影響で、節約傾向が一層強くなる。	
	コンビニ（エリア担当）	・人口が増加しているわけではないので、売上は飛躍的には増えない。	
	一般レストラン（経営者）	・消費税再増税を控え、駆け込み需要の見込める業種もあると思うが、サービス業は見込めそうになく、逆に買い控えられそうである。典型的な地方の落ち込みをたどっている。何に手を打てばいいのか模索が続いている。	
	スナック（経営者）	・先の予約の動きが悪い。イベントもあるものの、マンネリ化していて飽きられている。余り良い話は聞こえてこない。	
	美容室（経営者）	・この時期は確定申告等があり、雑務が多く忙しいため、来客数は減少する。	
	設計事務所（経営者）	・3月で完了する物件が多く、それ以降の依頼はまだ少ない。	
	住宅販売会社（経営者）	・別荘価格の低下が示す通り、高所得者の別荘購入が減少傾向にある。	
	×	スーパー（経営者）	・既存店舗の前年割れが続いている。消費動向については期待できない。
	×	一般レストラン（経営者）	・この時期、雪もなく寒さも感じない割に、人の動きが全くない。このままでは、この先2～3か月は良くなるどころか更に落ち込むことが予想される。
	×	スナック（経営者）	・飲食業だが、狭く人口が少ないところに、競争相手がものすごく多いので、良くなる要素が一つも見つからない。
	×	ゴルフ場（経営者）	・中小企業や地方都市では、景気上昇を実感していないのが実情である。そうした状況にもかかわらず、働き方改革関連法案の施行や消費税再増税が予定されており、戦々恐々としている。地方創生も、国からのお金が東京のコンサルタントに還流されるだけで、さしたる経済効果も認められない状況である。この国はどこへ向かおうとしているのか。
企業 動向 関連  (甲信越)	-	-	
	食料品製造業（総務担当）	・1月は12月の反動もあって売上に苦慮している。今が谷なので徐々に売上は回復していく。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・試作案件や引き合いがあるため、やや良くなる。	

	建設業（経営者）	・消費税増税前の駆け込み需要を少し感じられることや、年度末の需要に期待している。	
	金融業（経営企画担当）	・宿泊業者や観光業といった観光関連業種は、インバウンド需要により、前年より予約状況も良く、売上は堅調に推移しており、今後の売上見通しも「やや増加」としている。建設業、建築業関連では、公共工事は減少しているものの、一部の土木建設業者は、今後の売上を「不変」、「やや増加」としている。	
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・旅行需要が上向きようで、5月の大型連休だけではなく、海外需要も増えている。危機リスクの低減もあるようである。	
	窯業・土石製品製造業（経営者）	・新製品開発の話が入っており、時間は掛かりそうだが、動向に期待をしている。	
	一般機械器具製造業（経営者）	・資材の値上げに加え、為替変動もあって輸出の採算が悪化している。	
	電気機械器具製造業（営業担当）	・生産の落ち込みが懸念されていたが、受注も増加してきており、多少明るさがみえてきている。	
	食料品製造業（営業統括）	・日本とEUの経済連携協定が2月1日より発効する。ワイン関税が即時撤廃されるため、スタンダードワインで1本当たり94円、スパークリングワインで137円の関税がなくなる。既に大手各社は値下げ予告をしており、国産ワインに与える影響は相当大きいものと予想される。	
	金融業（調査担当）	・引き続き、製造業で米中貿易摩擦の影響が懸念され、非製造業の関連業種にまで影響が広がれば、景気を下押しするとみている。	
	×	食料品製造業（製造担当）	・人口は減少しているのに、新規にスーパーが開店する。地域間の競争が激しくなって価格競争が始まり、お互いに体力を奪われ、厳しい状況になる。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・仕事量も減っており、毎月の資金繰りが本当に大変である。
	×	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・前年9月から中国向けの売上が2割近く減少している。3月に海外で行われる宝飾展へ向けて、緊張感が高まっている。
雇用 関連 (甲信越)	-	-	
	職業安定所（職員）	・パートを含む全数の新規求人は、12月末現在、前年同月比で14か月連続で増加中である。有効求人は、更に28か月連続で増加している。同様にパートを含む全数の有効求職者は、12月末現在、前年同月比で3か月ぶりに増加しているが、有効求職者は67か月連続で減少中にある。景気はやや良い状況にあり、しばらくは継続する。	
	人材派遣会社（営業担当）	・ベースアップが期待できないため、相変わらず購買意欲が湧かずにいる方が多い。今年の5月や年末年始の休日は、時間給で働く派遣労働者は収入減となるため、今からアルバイトについての相談が多い。	
	求人情報誌製作会社（経営者）	・今後も人手不足が続くため、パートやアルバイトの時給を高くして募集をするが、業種によっては応募がほとんどなく、深刻である。	
	職業安定所（職員）	・売上が好調な企業は多いが、原材料価格の上昇と人手不足が幅広い業種に影響を与え、採算面の悪化も懸念される。	
	職業安定所（職員）	・製造業から「景気は悪いわけではないが、前年ほどの受注の伸びはない。」といった声も聞かれ、ここ数か月、求人数に大きな変動も見られないことから、受注、雇用共に一服感がある。しばらくは現状が続く。	
	*	*	
	×	-	